

## 【授業科目】解剖組織学

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
杉浦 諭	1年次前期	必修	1	15	講義	あり	卷末掲載	可
授業概要 (内容と進め方)	解剖組織学は人体の基本的構造を知るための最も基礎的な学問であるとともに、医療系専門科目を学ぶにあたり、重要な科目でもある。解剖組織学では正常な人体の形態と基本的な構造を細胞から組織、器官、器官系さらに個体までを統合して理解することを目的として教授する。基礎となる解剖学用語を学び、人体を構成する各器官を骨格系、筋系、循環器系、呼吸器系、消化器系、内分泌系、神経系、感覚器系、生殖器系の系統に分け、それぞれの名称、形状、構造、働き、および位置関係について教授する。また、肉眼的所見と各臓器の組織顕微鏡標本を用い、マクロとミクロの両面から人体の基本的構造を学び、他の臓器、器官とどのように関連しているか教授する。*実務経験を持つ教員が授業を進める。							
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー①「臨床検査の専門性と責務を自覚するとともに、地域に住むあらゆる健康レベルの人々に専門的知識と技術に基づき臨床検査を実践できる。」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正常な人体の構造に関する用語を正しく使用することができる。</li> <li>・人体の各器官の位置と構造を説明することができる。</li> <li>・人体の主要な組織を説明することができる。</li> <li>・形態から人体の構造や機能を読み取るための基礎知識を習得する。</li> </ul>							
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に、計画されている該当部分の教科書を一読し、また前回講義の内容についての復習も行ってから授業に臨むこと(60分)。</li> <li>・講義内容で不明な点は、講義中もしくは講義終了直後に明確にするよう努めること。</li> <li>・授業計画に記載のない泌尿器系、生殖器系および感覚器についても学習が必要です(各120分)。</li> </ul> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	第1回 細胞と組織：細胞の構造と機能、上皮・支持・筋・神経組織 第2回 骨格系：骨の基本構造、骨の発生と成長 第3回 筋系：筋の基本構造、頭部・頸部・体幹の筋 第4回 循環器系：肺循環と体循環、心臓の機能と構造 第5回 呼吸器系：鼻・咽頭・喉頭・気管・肺の機能と構造 第6回 消化器系：消化管と消化腺 第7回 内分泌系：内分泌器官と分泌ホルモン 第8回 神経系：中枢神経・末梢神経						全て 杉浦	
評価方法 評価基準	成績は以下の評点配分によって総合的に判断する。 学期末試験 80% 小テスト 10% レポート 10%							
教科書	最新臨床検査学講座 解剖学 医歯薬出版  入門組織学 南江堂 必要に応じてプリントを配布します。			参考書等		なし		
学生へのメッセージ	人体構造は、すべての医学系科目の基礎となります。解剖学に関する用語を覚えるのと同時に、形態から人体の構造や機能を読み取るための基礎知識を習得してください。							